

今、私たちのまわりでは、タブレットやスマホを使ってインターネットを使う人が増えています。とても便利ですが、実は「個人情報」が外にぬすまれる「流出」のトラブルが、小学生の間でも毎年増えていっています。みんなが気づかないうちに、あぶない目にあうのを防ぐために、この提案をします。

個人情報とは、あなたや家族の「名前」「住所」「電話番号」「誕生日」、そして「顔写真」などのことです。

インターネットで以下のようなことをすると、世界中のだれにでも情報が見られてしまいます。

- ・ ネットの友達に、自分の名前や学校名を教えてしまう
- ・ 友達や自分の顔、家がうつっている写真をネットにのせる
- ・ あやしいゲームのサイトに、名前や電話番号を打ちこむ

一度ネットに出た情報は、完全に消すことができません。悪い人に悪用されて、知らない人が家にきたり、知らない番号から電話がかかってきたりする危険があります。みんなの個人情報を守るために、次の「3つのルール」をクラスや学校で守ることを提案します。

・ **【確認する】**：写真や文字をネットにのせる前に、名前や場所がわかるものが写っていないか、必ず大人の人に確認してもらう。

・ **【教えない】**：ネットで知り合った人には、本名や学校名、LINEのIDなどを絶対に教えない。

・ **【相談する】**：あやしいサイトを見つけたり、間違えて情報を入力してしまったりした時は、すぐ先生や親に相談する。

インターネットは正しく使えばとても楽しい道具です。しかし、たった一つの油断で、自分や家族、友達まであぶない目にあわせてしまうことがあります。一人ひとりが「自分の情報は自分で守る」という意識を持って、安全で楽しい学校生活を送りましょう。